



患者・家族と医療をつなぐNPO法人 架け橋 第4回 シンポジウムin名古屋 これからの医療事故調査と 医療対話推進者の役割

平成27年10月から日本で初めての医療事故調査制度が動こうとしています。

NPO法人「架け橋」は、これまで院内患者サポート体制の充実を目指し、医療対話推進者の養成に努めてまいりました。

今回は、基調講演に名古屋大学病院の長尾能雅教授をお迎えし、お話をさせていただきます。シンポジウムでは、院内医療事故調査や患者・家族と医療従事者対応の現状を踏まえ、今後医療対話推進者が果たすべき役割などについて、シンポジストと会場の皆さまが共に考える場にしたいと思います。多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

プログラム

13:00 開会の辞

13:10 基調講演「院内医療事故調査の課題と展望」

長尾 能雅 氏 名古屋大学医学部附属病院 副院長／医療の質・安全管理部 教授

13:50 シンポジウム（休憩15分）

テーマ：「これからの医療事故調査と患者・家族・医療従事者対応」

座長：鮎澤 純子 氏 九州大学大学院 医学研究院医療経営・管理学講座 准教授
シンポジスト

長尾 能雅 氏

大坪 寛子 氏 厚生労働省 医政局総務課 医療安全推進室室長

北野 文将 氏 名古屋大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部 弁護士

川瀬 敏子 氏 名古屋大学医学部附属病院 医療対話推進者

豊田 郁子 氏 新葛飾病院 医療対話推進者／「架け橋」理事長

16:20 閉会の辞

日時：平成26年10月25日（土）13時00分～16時30分

場所：名古屋大学医学部・医学系研究科 基礎研究棟3階第1講義室

参加費（資料代） 正会員 500円、非会員 1,000円

定員：100名

申し込み方法

所属、氏名をご記入の上、下記アドレスへお申し込みください

kakehashi@y-ep.com（当日参加も受け付けます）

会場案内

名古屋大学医学部・医学系研究科
基礎研究棟 3階 第1講義室

住所：〒466-8560

名古屋市昭和区鶴舞町65番地



基礎研究棟



交通

JR中央本線・鶴舞駅（名大病院口側）下車
徒歩3分

地下鉄（鶴舞線）鶴舞駅下車 徒歩8分

市バス「栄」から栄18系統「妙見町」行き
で「名大病院」下車

【基礎研究棟までの移動経路】

・各交通機関（JR線、地下鉄線、市バス）
→院外JR線沿い道路→医学部西門（旧西病棟と看護師宿舎の間）→基礎研究棟（講義室、会議室1・2、学務課）